

こくせいぜんじ
国清禅寺

所在地：南あわじ市 松帆西路



国清禅寺の境内 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

国清禅寺は、黄檗宗の禅寺であり、淡路島出身の日本南画の第一人者・直原玉青氏（じきはら ぎょくせい）の尽力により約30年前に再興されました。

四月になると、白い壁に囲まれた庭に約60種400株のボタンが大輪の花をいっせいに咲かせることから、あわじ花けんろの第37札所に選ばれています。

国清禅寺には、直原画伯の作品を展示した玉青館も併設されており、南画の美の世界に触れることもできます。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから県道31号線を北上。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図